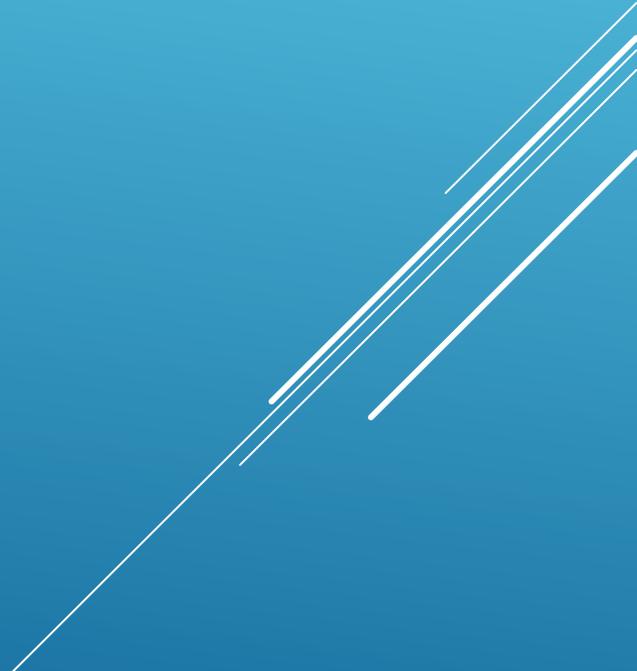


テーマ：眼瞼下垂

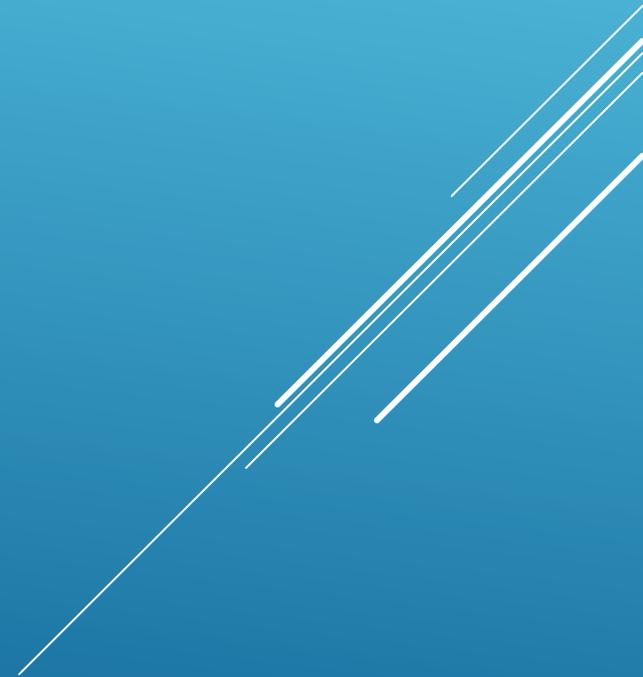
宮崎江南病院 形成外科

諸岡 真

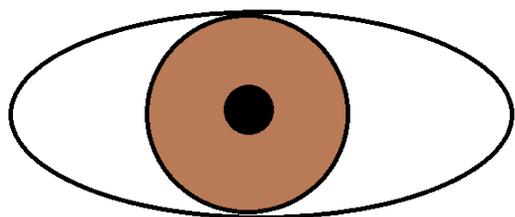


眼瞼下垂とは

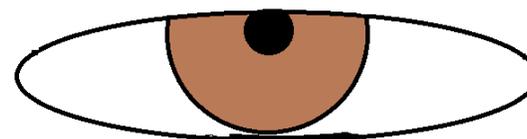
目蓋を十分に開くことが出来ずに、瞳に目蓋が覆いかぶさっている状態。



正常



眼瞼下垂



真ん中の黒目に目蓋がかぶさっている

分類

先天性：生まれつき目蓋を開ける機能が弱い、あるいは無い。

後天性： 1. 加齢性の変化

2. 手術や外傷による神経損傷など

3. 内科的な疾患

症状

目を開こうとして常におでこに皺が寄っている。

常におでこの筋肉が緊張しているため、頭痛や肩こりなどの症状がある。

信号など上の方が見づらい。

午前中は調子いいが、午後・夕方になると物が見づらくなる。

治療

先天性：全身麻酔による手術

後天性：局所麻酔（まれに全身麻酔）による手術

余剰皮膚切除

拳筋前転術

筋膜移植 など

ただし、内科的疾患によるものは除外する

治療期間

手術後、目蓋の腫れが引くまでは入院

手術後、約1週間で抜糸

術後の経過を見るため、月に1回の外来通院
(数カ月～数年)